

設備管理職員の継続した採用と育成の場を残すことが喫緊の課題

整備係の作業環境と運転係による工場全体の管理

整備係での職務は、機器のメンテナンス、工作物制作、緊急時の応急処置等があります。作業環境は劣悪で、粉塵や臭気のある場所、高所および狭小場所での作業、劇薬を使用した機器の補修等を行っており、作業は困難極まることも多く、火器や高速切断機等を使用することもありますが、安全対策を十分に施して作業にあたらなければなりません。



▲過酷な作業環境

備管理職員からは身体機能低下の訴えも多く、特に夜間勤務(15時間30分勤務)の体への負担は大きいことから運転係への配属希望者が減っており、工場運営の課題となっています。

清掃工場の人材育成

以上、清掃工場に配属される設備管理職員の仕事と課題を紹介しましたが、清掃工場での人材育成には7~10年かかる

とされています。守るとい意識のもと、滞りなくごみ等を受け入れ、昼夜を問わず安定的にごみの24時間連続焼却を実施し、最終処分場の

安全かつ安定的に実行し、23区における清掃事業の一翼を担っています。また、そこで働く職員は地域の衛生環境を

守るとい意識のもと、滞りなくごみ等を受け入れ、昼夜を問わず安定的にごみの24時間連続焼却を実施し、最終処分場の

最後に、清掃一組は23区の区民から排出される一般廃棄物の中間処理を

ま業務委託が拡大すれば、清掃一組の信頼と力量が低下しかねません。今後も、清掃工場の安全で安定的な操業のために、継続的な新規採用と直営による運営を求めています。

安全と安定的な中間処理と最終処分場の延命化

最後に、清掃一組は23

業務遂行には幅広い知識と熟練度が求められますが、職員の育成には時間が必要である一方、高

間体制で勤務していません。職方はDCS(分散制御システム)を内蔵したパソコンを駆使し、ごみバンカーの整理や焼却炉等各設備の運転操作と監視をしながら工場全体の管理を行っています。

その他、プラント設備やクレーンの点検、コンベヤの詰まり解除作業等、夜間における機器故障の応急対応を行っています。しかし、高齢層の設

備管理職員からは身体機能低下の訴えも多く、特に夜間勤務(15時間30分勤務)の体への負担は大きいことから運転係への配属希望者が減っており、工場運営の課題となっています。

最後に、清掃一組は23区の区民から排出される一般廃棄物の中間処理を

最後に、清掃一組は23区の区民から排出される一般廃棄物の中間処理を

最後に、清掃一組は23区の区民から排出される一般廃棄物の中間処理を

最後に、清掃一組は23区の区民から排出される一般廃棄物の中間処理を

最後に、清掃一組は23区の区民から排出される一般廃棄物の中間処理を

最後に、清掃一組は23区の区民から排出される一般廃棄物の中間処理を

いま No.55 清掃事業は... 清掃一組

備管理職員からは身体機能低下の訴えも多く、特に夜間勤務(15時間30分勤務)の体への負担は大きいことから運転係への配属希望者が減っており、工場運営の課題となっています。



▲施設内排水整備

備管理職員からは身体機能低下の訴えも多く、特に夜間勤務(15時間30分勤務)の体への負担は大きいことから運転係への配属希望者が減っており、工場運営の課題となっています。

清掃職員の唯一無二の全国職能別組織として 強い絆の団結で一丸となって取り組もう 都市清掃第79回定期大会に参加



▲全国から清掃労働者が集結

2月16日(金)・17日(土)、長崎県「矢太樓」において、都市清掃労働組合協議会第79回定期大会が開催されました。全国から23単組90名が参加、東京清掃からは都市清掃役員を含め7名で参加しました。

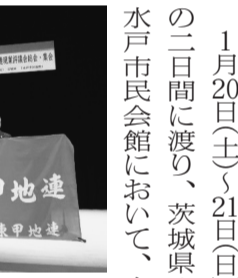
北川議長の主催者あいさつを受け、来賓として駆けつけていただいた自治労本部吉村現業局長・自治労長

2日目は活動方針(案)に関する討論から始まり、会計予算(案)とともに議事は会場の拍手で確認されました。新役員として事務局長に東京清掃の坂部副中

最後に「絆と団結を合言

被災地への支援体制の確認と過去の事例を共有

自治労関東甲地連現業評議会総会・現業集会



▲吉野議長の主催者あいさつ

1月20日(土)・21日(日)の二日間に渡り、茨城県の水戸市民会館において、自治労関東甲地連現業評議会総会・現業集会が開催されました。

自治労関東甲地連現業評議会・現業集会が開催されました。東京清掃から8名が参加し、1都6県195名の参加者とともに交流を深めました。

今総会で退任される吉野関東甲地連現業評議会議長のあいさつで開会し、すべての総会の議事は満場一致で確認されました。

二日目は分散会の続きを行い、その後の全体会では、岸まきこ自治労組織内参議

最後に「絆と団結を合言



▲吉野議長の主催者あいさつ

2月16日(金)・17日(土)、長崎県「矢太樓」において、都市清掃労働組合協議会第79回定期大会が開催されました。

北川議長の主催者あいさつを受け、来賓として駆けつけていただいた自治労本部吉村現業局長・自治労長

2日目は活動方針(案)に関する討論から始まり、会計予算(案)とともに議事は会場の拍手で確認されました。

最後に「絆と団結を合言

最後に「絆と団結を合言

2024年度 四役体制

※敬称略

- 議長 北川 滋雄 (大阪市従)
- 副議長 田中 有人 (札幌市労)
- ” 多田 修一郎 (東京清掃)
- ” 松本 真実 (横浜清掃)
- ” 小川 真一郎 (佐世保市現)
- 事務局長 坂部 貴之 (東京清掃)
- 会計 福原 健一 (神戸市従)



▲新事務局長の坂部副委員長



▲山口青年部長から青年女性交流集会の報告

葉に運動強化に向け邁進することを参加者全員で確認し、北川議長の団結が

ばらうで大会は成功裡に終えられました。

(萩原 崇氏)



▲井口新議長の団結がばんぼう

がありました。続く立教大学の藤井誠一郎准教授による基調講演では「これからの公共サービスの提供と自治体現業職員のあり方」というテーマを基に、自治体現業職員として住民から必要とされるためには「何を取り組むべきか」という視点で講演を受けました。

続いて、各分科会報告、最後に井口新議長(神奈川県本部)による団結がばんぼうで終了しました。

(台東区担当中執 鈴木信生)